

教室おすすめの取組

ほんごう放課後子ども教室 【三原市 本郷】

取り組みの名前 新聞紙で遊ぼう 取り組みの種類 ゲーム（集団遊び）

取り組みの内容

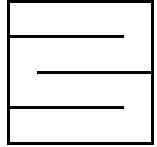
＜材料＞

- ・新聞紙（広告紙も可）多数
- ・セロテープ
- ・段ボール箱（チーム数・できるだけ同じもの 大きさ適当）

＜方法＞

＜ゲーム 1＞【だ～れが、長い】

- ① 一人に、8分の1の大きさの新聞紙を配る。（一人分の大きさは工夫してください）
 - ② 合図で全員一斉に、できるだけ切れないように細く長く新聞紙を裂く。 →
 - ③ チームの中で、一番長く裂いた人の新聞紙を代表として出す。
 - ④ 長い順に、順位をつける。
- ※ 一人分の新聞紙を16分の1ぐらいに小さくして、全員の新聞紙を並べて長さを競い合っても可。



＜ゲーム 2＞【猿の島渡り】

- ① チーム全員で、4分の1の新聞紙を足の下に敷いて、一列に並ぶ。
 - ② 先頭のリーダーは、足の下に敷いた新聞紙の他に、一枚余分を持つ。
 - ③ 合図で、リーダーは、余分に持っている新聞紙を自分の前に置き、その新聞紙に移る。
 - ④ リーダーのすぐ後ろの人（猿）は、リーダーが前に行ったために空いた新聞紙に移る。
 - ⑤ このように順次、全員が前の人（猿）の新聞紙に移って渡っていく。
 - ⑥ 一番後ろの人（猿）は、自分が敷いていた新聞紙が空くので、それをすぐ前の人に渡す。
 - ⑦ 渡された人（猿）は、ボール送りのように順番に前へ前へと渡し、リーダーまで届ける。
 - ⑧ リーダーは、回ってきた新聞紙を、自分の前に置き、それに移る。これを繰り返す。
 - ⑨ ゴールの線を、一番最後の人（猿）が超えたら終了。チームごとの順位を決める。
- ※ ゴールまでの距離は短めにする方が良い。

＜ゲーム 3＞【新聞玉入れ】

- ① 新聞を丸めて、床に置いた段ボールに入れる競技。
 - ② 合図で、新聞紙を丸めることから始め、投げ始める。新聞紙は多めに。
 - ③ 全チームが一斉に自分の段ボール箱に向かって投げる。（30秒ぐらいに短めに）
 - ④ 競争相手の段ボール箱に入っても、相手の得点になるので、気を付けて！
 - ⑤ 1回戦が終わると、箱に入っている数をコーディネーターが数える。
 - ⑥ 合図とともに散らばっているボールをチーム全員でかき集める（これも作戦・チームワーク）
 - ⑦ 2～3回戦行くと燃える。
- ※ 簡単だが、熱狂する競技。片付けもがんばって。

＜ゲーム 4＞【ファッションショー】

- ① チームで、一人モデルになる人を決める
- ② 新聞紙でモデルの服・持ち物・被るもの・履くものなどを作る。
- ③ コーディネーターやスタッフがそれぞれのモデルに賞をつける。
（素敵なおドレスで賞・剣がすばらしいで賞・お姫様で賞・・・などなど）



気を付けていること

- ・本子ども教室は、100名を超える子ども達が参加している。縦割り班：6チームで常時活動もゲーム大会も行っている。
- ・チームごとに順次行うゲームは待ち時間が長くなり、子ども達が飽きて騒いでしまうので、全員が一斉に行えるゲームを工夫している
- ・できるだけ準備が少なく、予定変更があっても対応できるゲームを工夫している。それが上記のゲーム。
- ・年間2～3回実施している。

取り組み子どもたちの様子

- ・いろいろな活動を組んでいるが、これらのゲームはヒット作。とにかく体育館全体に響くくらいの歓声で熱狂して取り組む。
- ・上記のゲームとクイズなどを組み合わせて、チーム戦として行くと、5・6年のリーダーが燃える。